



神戸市 O様邸

自然の中の小径をイメージしたアプローチ



ランダムに敷石を配置した駐車スペース



玄関ホールを飾る絵のような中庭



株式会社 ウエシン  
代表取締役 松田 真一氏 兵庫県神戸市

## 自然を多彩に感じさせるエクステリアを提案

この住宅は“自然を意識させる”ことをコンセプトに設計しています。駐車スペースと一体となるアプローチには敷石をランダムに配置し、石をきっちり敷き詰めることはしていません。「敷石の間から草が生えれば、草むしりをしよう」という発想です。ただし、敷石が目立つように石の周辺に溝を掘るなどデザイン上の配慮はしています。

また、門から玄関、玄関から庭に続く通路の植木にも、何本かは成長とともに枝が張り出すものを選んでいきます。歩きにくくなるのですが、山歩きのように手で枝をはらう行為が自然を感じさせることにもなります。同様に自然の感覚を味わう発想で、道路に面した植栽も高さを一定にしていません。花もあつたりなかったり、季節ごとにいろいろな表情を見せてくれる楽しみを持たせています。エクステリアにはそうしたストーリーが大切だと考えています。この意味合いから、施

主様には工事中から「家づくり＝暮らしづくり」にご参加いただきます。例えば植木やレンガを一緒に見にいき、アドバイスし、決定を施主様に託します。そうすれば「自分で住まいや庭の素材を選んだ」という満足をお届けできます。

この住宅で特筆すべきところは、中から鑑賞するエクステリアです。玄関ホールの正面は空からの光を取り入れるFixガラスなのですが、その向こうの空間を内側に引き込むことを試んでいます。ガラスと同じ幅でアールのスチールパネル（朱色）を塀ぎわに屏風のようにしつらえ、その前に一本の木を植え、一枚の絵のような空間を創りました。玄関の扉を開けたときに思わず目に入る、感動的なエクステリア空間です。

これからただ目立つというのではなく、素敵な目印のある家を創っていきたくと考えています。